

迎春



年頭の挨拶



和水町議会議長

多賀勝丸

謹んで新春のお慶びを申し上げます。町民の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より議会に対するご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。昨年4月の議会議員改選より、早くも8カ月が経過致しました。14名の議員一同しっかりと議論し、より身近なそして開かれた議会を目指し町民の皆様の負託に応えられるように、一生懸命努力しているところです。9月議会より一般質問を今までの『一括質問方式』から『一問一答方式』を取り入れた為に町執行部の答弁がしっかりと最後まで聞けるものと思っております。

さて和水町が誕生して5年目を迎えました。地方財政を取り巻く情勢は厳しさを増しています。本町も学校統合、少子高齢化、農業の低迷等大きな課題が山積しています。

本格的な町作りに向けて議会と町執行部が色々な面で切磋琢磨しながら住みよい町作りを目指し、新しい時代の要請に対応し、皆様の意見を的確にとらえ、町の意志決定に対する「チェック」機能としての責務を果たしていきたいと再認識いたしております。改革は様々な痛みや摩擦を伴いますが、旧二町時代からの課題等今後取組んでいく必要があると考えます。

T P P（環太平洋戦略的経済連携協定）については12月議会において絶対反対の意見書を国に提出したところです。又、今年3月には九州新幹線も全面開業となります。その対応策も今後議員全員で鋭意努力してまいりたいと考えます。

最後に町民の皆様の議会へのなお一層の理解とご協力をお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとりまして幸多き年でありますよう祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。



和水町議会副議長

杉本和彰

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、心も新たに希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、景気の低迷・雇用不安等あり危機感を募らせました。本町も合併5年を経過し、イノシシ対策を含む農業問題・人口減少・学校統廃合等早急な課題があります。本町の財政状況は一段と厳しくなっており、基金の獲得、活用で万全を期していかなければなりません。

一方で、九州新幹線が国の施策によって目に見える形で推進されており、本町再生の明るさも増してきて欲しいと考えます。

財政再建に向けて、さらなる町民への痛みを求め続けるのか、それとも内部の行財政改革を先行させるのか。町民が満足し、納得し、信頼する効率的・効果的な自治体をど

う実現していくべきか。規模の大きさを競う時代ではなく

自然、歴史、伝統、文化、産業、創造性などの地域の個性を生かしたふるさとづくりを目指して、本年も町議会は精進してまいります。町民の意見や要望を早期に反映するためには、ますます議会の役割は、重要になってきます。政策提言型の活発な議会に

すべく、がんばってまいります。

最後に、皆様のご健勝をお祈り申し上げますとともに本年も一層のご支援とご協力をお願いいたします。

